

四九河開第五八号

昭和四九年八月二六日

東彼杵郡川棚町川原郷総代 松尾末太郎

岸屋郷総代 川口 聖人 殿

木場郷総代 照本 常男

長崎県知事 久保 勘 一

## 石木川の河川開発調査結果について

石木川の河川開発調査につきましては、地元関係各位の格別の御配慮と御協力によりまして調査を完了することができましたことを厚く御礼申し上げます。

ここに、昭和四七年七月二九日締結いたしました覚書に基づき、調査結果を次のとおり報告いたします。

一、ダムサイトの地質構成は、その大半が石木安山岩類の地質からなっており、ダムの建設についてはほとんど問題は無いが、一部にみられる脆弱部についても基礎処理を実施することによってダムの基礎としての問題は解決できる。

二、ダム基礎岩盤の透水性（岩の割れ目からの水の漏れ具合）については、一部に大きい透水箇所や漏水箇所が見受けられたが、検討の結果、現在の土木技術をもってすれば、その処理は可能である。

以上の観点からダムの建設は技術的に可能であるとの結論に達しました。